

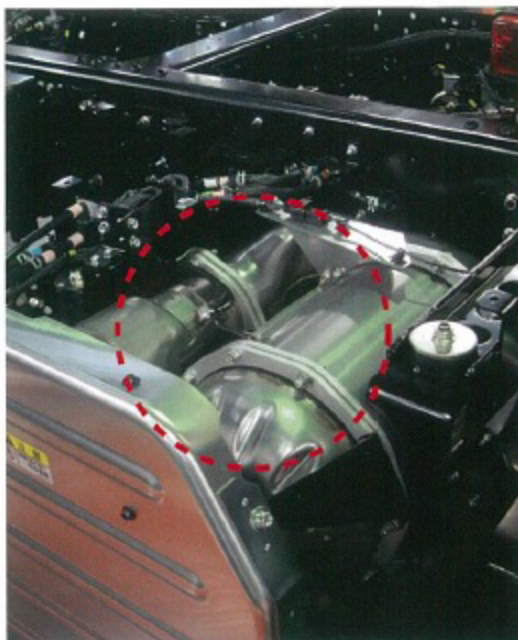


役割

DPDフィルターは、排気ガス中のススを捕集し燃焼させる事で、排気ガスを浄化します。また、エンジンオイルの燃えカス(アッシュ)はフィルターに堆積していきます。

定期メンテナンス の必要性

DPDフィルターにアッシュが溜まりすぎると、エンジンチェックランプが点灯し、エンジンの出力制限がかかり、走行出来なくなります。



点検の時期

1年ごとにDPD装置の点検、及び清掃を推奨します。

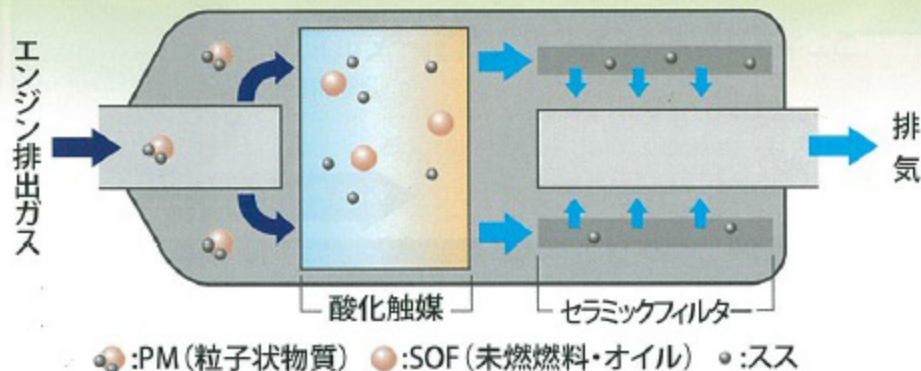


そのまま使うと...



走行不能

DPD本体構図



エンジン排出ガスに含まれる大気汚染物質PM(Particulate Matter)をセラミックフィルターで捕集し、燃焼処理(DPD再生)する装置です。

DPD定期メンテナンスについて…

お客様のお車の排出ガスをクリーンな状態に保つため、1年ごとにDPD装置の点検を推奨します。

点検の結果によりDPDフィルター、差圧パイプ等の清掃が必要になる場合があります。DPDの性能を維持するため、燃料系統(燃料フィルター・インジェクター等)、吸気系統(エアエレメント等)の定期的な点検・整備をお願いします。

エンジンオイルは、必ず指定の「低アッシュオイル」ご使用下さい。

■低アッシュオイルだから、DPDへの負荷を低減

ベスコクリーンは、DPDフィルターの目詰まりの原因となるアッシュ(灰分)を極限まで削減。従来タイプのオイルに比べ、DPDフィルターの目詰まりを抑制し、DPD再生頻度を減らす、省エネタイプのオイルです。

